

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ 2015.10
October
No.97



バトントワリングの
世界大会で第5位に
輝いた学生の
インタビューを掲載

← 中面をCHECK!

| 特集 |

世界にはばたく!
グローバル
中村生



大好きなバトンで 世界大会5位に入賞

子どもの頃からずっと続けてきたバトントワーリング。
その世界大会「2015年 IBTFグランプリ大会」で見事5位に輝いた石橋さんに、
入賞のよろこびやバトンの魅力についてお話を伺いました。



「友だちが習っていて楽しそうに見えた」というきっかけで、わずか5歳ではじめたバトン。小学校入学と同時にクラブチームに所属してから15年もの長い間、石橋彩夏さんはひたすらバトンと向き合ってきました。それほどまでにバトンにのめり込む理由は、ソロの演技中にたくさんの観客の目が自分に集まる気持ち良さ、そして、新しい技が習得できたときの喜びなのだとか。少しでも良い演技ができるよう、柔軟や筋力トレーニング、ダンスにバレ

エなど、日々鍛錬を積んできました。その結果、今年の全日本バトントワーリング選手権大会では、見事入賞し、はじめての世界大会へ。とにかくがむしゃらに戦った結果、なんと5位入賞を果たすことができました。「将来の目標はまだ明確にはありませんが、バトンは続けられる限り続けていきたい」と石橋さん。来年には復活もスタートしますが、持ち前のパワーでさらなる躍進を目指し挑戦を続けます。

がむしゃらに戦った世界大会は、
自分自身のがんばりに思わず感動

旬のひと

第3回

流通科学部流通科学科2年

石橋 彩夏さん

(中村学園女子高等学校出身)

CELERY | No.97

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌 [セロリ] 2015.10.31発行



02 ----- 世界にはばたく! グローバル中村生

卒業生インタビュー

07 ----- 先輩に会いたい! 積水ハウス株式会社 佐藤 昂平さん

Column1

08 ----- この授業に注目! 「博多学」教育学部 占部 賢志教授

在学生インタビュー

09 ----- がんばれ!中村生 流通科学部1年 西村 尚久さん 教育学部4年 中村 弘一さん

11 ----- CELERY誌面講座 第3回 食物栄養学科 三堂 徳孝教授 「調理のススメ ～調理の習慣は健康の鍵～」

Column2

13 ----- クラブ&サークル [サッカー同好会]

14 ----- NEWS&TOPICS



世界にはばたく!

グローバル 中村生

Global Nakamura Student



グローバル化が進む現代、中村学園大学・中村学園大学短期大学部でも、
世界で活躍できる人材を目指すことが大きな課題のひとつとなっています。

本学では“世界と日本の架け橋となる”

グローバル人材=ブリッジ人材の育成に取り組んでいます。



学部・学科ごとに目指す道が大きく異なる中村学園大学・中村学園大学短期大学部では、これまで主に学部や学科ごとに育成すべき人材像は異なっており、グローバル化についても大きな差がありました。

しかし、どのような職業にもグローバル化の波が訪れている現代。全学で貫いた取り組みを行うことで、学部・学科に関係なく、グローバル化する社会で活躍できる人材を育てることが必要とされています。そこで、「グローバル人材育成ビジョン」を策定。グローバル人材の育成に向けて全学を上げた取り組みがスタートしたのです。

本学が重視しているのは、ただ海外へと渡るのではなく、建学の精神に通じる、日本人としてのアイデンティティをしっかりと持つとともに、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、海外との橋渡しができる人材（ブリッジ人材）の輩出を目指すこと。すでにいくつかの取り組みがスタートする中、この夏留学先へと出発した学生や、学内での新たな試みを通して積極的に語学を学ぶ学生の姿も多く見られるようになりました。

今後ますます取り組みを強化し、外国語の習得等を通じて異文化を理解し、世界の舞台で活躍するとともに、国際協力にも貢献できるブリッジ人材の育成を目指していきます。



中村生たち



一人ひとりの夢を叶える

『トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム』

海外での「異文化体験」や「実践活動」を焦点にした留学を推奨することにより、日本の若者を将来世界で活躍できるグローバル人材に育成する留学支援制度。それが、官民協働海外留学支援制度『トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム』で、給付型の奨学金などの補助が受けられます。このユニークな留学制度の第2期生・第3期生に、キャリア開発学科の学生2名が選ばれました。

語学が苦手でも
大好きなダンスと情熱で
留学できるんです！

キャリア開発学科2年 岡田 奈菜子さん
(中村学園女子高等学校出身)

3歳から続けているダンスの技術をもっと高めたい、そして、アメリカの病院で活躍するホスピタルクラウン[※]を研ぶ。そのどちらもの本の留学を決めまーちが先生として並ウエイの劇場であ夢のような場所。だと諦めていたの薦めていただき、『トビタテ!留学日本代表プログラム』に応募しま1,290名が申請し、短大生か、わずか2名のうちの1人として、研ができ、全力で支えてくださった方々に感謝しています。

語学力が十分でなくても、夢や目標、アイデア、熱意が評価されるのがこの留学制度の魅力です。



留学先のBroadway dance centerにて

卓球でのスポーツ交流を
通して平和外交を
担う人材に

キャリア開発学科2年 下坪 美月さん
(東九州龍谷高等学校出身)

小学2年生から卓球をしていて、高校ではインターハイにも出場しました。現在は市内の中学生コーチをしているのですが、大好きな「卓球」で何か社会に貢献する人になれないかと考えたのが留学のきっかけです。



中国語はまったくできないのですが、行き先は卓球の本場・中国の北京。あこがれの選手が通っていた北京体育大学で、語学を学びながらスポーツ交流を行い、中国の卓球の強さの要因をリサーチしていきます！

将来はこの経験を活かしてスポーツを通じた平和外交を担う人材になったらと考えていますが、まずは2020年の東京オリンピックの際に中国の人々をおもてなしてきたいですね。はじめての海外なので不安は大きいのですが、5カ月の留学期間でたくさんの人脈をつくって帰ってきたいと思っています。



留学先の北京体育大学にて

※ホスピタルクラウン…身体の免疫力を上げるとされる「笑い」を病院に提供する活動。クラウン(道化師)の病院訪問が始まり。

世界と日本の架け橋に!



期待のグローバル

流通科学部『海外スカラシップ制度』 『スタートアップ奨学金(日本人大学生留学奨学金)』 1年間の長期留学へ

流通科学部生を対象とした『海外スカラシップ制度』は、海外の協定大学等へ半年または1年間留学する制度で、留学先で取得した単位が認定され4年間で卒業することが可能です。授業料や渡航費などの補助も受けられます。この学内の留学制度に加え、福岡よかトピア国際交流財団による『スタートアップ奨学金』にも選ばれた学生に、留学への思いや将来について尋ねました。

選考会でも多くを学べた スタートアップ奨学金

流通科学部3年 山口有嬉さん(北筑高等学校出身)

高校生の時から国際交流に興味をもっていたので、大学に入学した際には、それに關するサークルや学生団体を探しました。選



んだのは「アジア太平洋子ども会議」のボランティア活動でした。台湾でのスタディツアーや、留学経験豊富な方々との出会いを経て、「自分の英語力をもっと高めたい」と考えるようになりました。そこで、まずは流通科学部独自の留学制度である「スカラシップ制度」を活用して1年間オーストラリアに行くことを決めたのですが、公共財団法人福岡よかトピア国際交流財団が行っている「スタートアップ奨学金」にも採用され、資金面では何の心配もなく現地で1年間過ごせることになりました。

学内の『海外スカラシップ制度』は、選考基準に普段の授業での評価(GPAや修得単位数)が含まれるため、1年次からこの制度を視野に入れて授業にも励んできました。

スタートアップ奨学金では、選考会で企業の方との交流が催され、就職活動の一步になりました。1年間留学するということが周囲よりも就職活動が遅れてしまうという不安もあったのですが、この交流会で「企業が留学生にどのようなことを求めるのか」を知ることができました。

留学の一番の目的は語学ですが、オーストラリアは移民の国なので、「多文化共生」について学びたいと考えています。スタートアップ奨学金に選ばれたためにたくさん先生や職員の方にサポートしていただいたので、その分成長して帰って来られるようがんばります!





VIA AEREA
PAR AVION

BY AIR MAIL
PAR AVION

はじまっています!



グローバル人材育成に向けた 新たな取り組み

1

学生をサポートする 『国際交流・ 社会連携課』が新設!

留学を目指す学生やグローバルに活躍したいと願う学生たちをサポートするため、留学経験者など豊富な経験をもつ職員が集まった新しい部署として、今年7月より国際交流・社会連携課を新設。これまではさまざまな課の担当者が、留学や国際交流に関する業務を担当していましたが、外国語セクションの教員とも連携し、学生が気軽に相談できる窓口を設けることで、より多くの学生のニーズに応えていこうと意気込んでいます。

3・4ページで紹介した『トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム』や流通科学部の『海外スカラシップ制度』の申請など、それぞれの学生に合わせたサポートを行います。

国際交流だけでなく、社会連携も担当するため、地域にもグローバルな視点を還元し、留学生との交流など、地域の国際化へも貢献できるような活動を行う予定です。

2

キャンパス内で 自由に学べる『語学カフェ』

丸善キャンパスショップ内のフリースペースで『語学カフェ』が開催されています。これは、海外留学や海外で活躍できる人材育成の一助として、学生が自由に外国語を学習できる場所を設けようと外国語セクションの教員が企画したものです。

学部・学科を問わず、自由に参加できる語学カフェは、毎回12時〜13時に開催。前学期に中国語からはじまり、後学期からは英語も加わりました。今後は韓国語やフランス語など授業が行われている外国語を網羅することが目標です。

「カフェ」と名前についているだけあって、ランチをもつての参加もOK。さらに、お菓子やジュースも出るので、学生たちはみんなでワイワイにぎやかに、講師役の留学生との会話を楽しんでいます。すでに毎週参加している学生もあり、学生同士の新たな友情が生まれたり、留学先の情報交換の場になるなど、人と人のつながりを生む場所にもなっています。



Teacher's interview

外国語セクション 岩田 京子准教授
(キャリア開発学科)

社会と学生のニーズに 応えられるサポートを

これまではそれぞれの学部・学科でグローバル化に対する学生のサポートを行ってきたので、「これから全学でグローバル化に取り組もう」と明確な目標ができたことが何よりも大きな前進です。実習が多い学部・学科は留学に行くのが難しいなど課題はいろいろありますが、それでもグローバル化は避けては通れないもの。どんな職業にもグローバル化に対応する人材が必要になっていると感じていますので、社会の、そして学生のニーズに応じたさまざまな取り組みを考えていきたいですね。

本学が掲げるグローバル人材は、何も「外国に出て行く」人材というわけではありません。外国に行くからグローバル、国内にいるならローカルというわけではなく、その両方の架け橋になるブリッジ人材を育てていきたい、というのが教職員同の願いです。

海外への興味を育てる 環境づくりを進めたい

今、私たち外国語セクションが力を入れているのは、まずは留学の支援です。「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の申請のサポートなども国際交流・社会連携課とともに行っています。キャリア開発学科から2名実績が出来たことは後輩たちに大きな勇気を与えたようです。「自分も申請したい」という学生がたくさん出て、良い連鎖が既に生まれてきたことを実感しています。それ以外にも、中村独自の海外研修や留学制度を見直し、多くの学生がもつと気軽に海外に行ける環境をつくっていききたいと思えます。今後とも留学支援を強化して参ります。

もうひとつ



力を入れているのは「語学カフェ」です。授業以外でキャンパス内で気軽に語学を学べる場があれば、と始まった取り組みなので、私たち教員が講師役を務めるのではなく、学生と年齢の近い留学生に講師役をしてもらっています。

こうした取り組みを重ねていくことで、夏休みなどにたくさんの学生がどんどん海外に出かけるようになってくれるとうれしいですね。そして将来は、例えば海外に行かなくても、福岡や九州の地で海外との橋渡しができる人材として、社会で活躍してもらいたいと思っています。

「グローバル人材育成ビジョン」主な取り組み

1 グローバル教育の推進

- グローバル教育に資する科目の検討
- グローバル教育環境の整備
- 留学生の受け入れ環境の整備

2 海外大学等との連携強化

- 東アジア、ASEAN、欧米等の諸大学・研究機関と積極的に連携協定を締結
- 外国人教員や外国人留学生の受け入れ

3 学生の海外留学の推進

- 語学研修、異文化体験、フィールドワーク等を含むより多くの海外留学の機会の提供
- 学位取得やインターンシップ等の実学に資する留学機会への向上

4 学内の国際化推進

- 外国人教員や留学生の積極的受入
- 日本人学生と留学生の交流等による多様性や国際性の涵養

5 地域に対するグローバル化への貢献

- 地域の国際化への貢献

先輩に 会いたい!

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー!
先輩たちの“今”を紹介します。

OB・OG
interview
vol.03



住宅メーカーの営業担当として
営業の難しさを感じながら
日々奮闘中の佐藤昂平さんに、
大学時代の思い出や
将来の目標など、
さまざまなお話を伺いました。



佐藤 昂平さん kohei sato

平成25(2013)年度 流通科学部卒業

勤務先: 積水ハウス株式会社

自分自身を変えてくれた ゼミの学びと恩師の存在

他の大学の付属高校に通っていたので、友人はほとんどその大学に進学したのですが、私自身は「何か自分を変えていきたい」という気持ちがあり、中村に入学したんです。でも、特に勉強に力を入れるわけでもなく過ごして…。そんな時、3年生になってゼミの学びと恩師である後藤先生に出会ってから、自身を変えることができました。

私が所属していたのは「商品企画」のゼミでしたが、ゼミの実習で、「魚の産卵・育成場所である藻場を食い荒らすイソズミという魚をどうにかして商品化できないか」という課題に取り組み、実際にかまぼこにして博多駅で売ることができました。この経験を通して地域の活性化についても学ぶことができ、たくさん得るものがありました。先生も本当によく面倒を見てくださり、おかげで大きく成長できたと思っています。しか



も、積水ハウスに入社するきっかけを与えてくれたのも後藤先生なんです。

夢だった住宅の仕事で もっと成長していきたい

父と祖父が大工関係の仕事なので小さな頃から家づくりには興味がありました。でも、「つくる方じゃなく売る方がしてみたいな」と思い住宅メーカーを志望したんです。ところがなかなか内定をいただくことができなくて…。そんな時、後藤先生がくれたアドバイスのおかげで内定をいただくことができました。

現在私は営業として展示場やイベントに来てくださったお客様のご案内をしています。住宅は一生に一度の買い物なので、契約をいただくのは簡単ではありません。精神的にも体力的にもつらい思いをすることのある仕事ですが、お客様にお引き渡しをする瞬間の喜びが励みになっています。いつかはこの支店の店長に…。という夢もあります。まずは営業として数字を上げられるよう努力していきたいですね。



この授業に
注目!

ふるさとの魅力を
知りながら社会に
必要な力を育てる

古代からアジアの玄関口として発展を
続けてきた博多は、歴史遺産の宝庫と呼
べるまち。私たちの周りには、興味深い学
びのテーマが多数存在しています。

そのテーマを自分なりの方法で細かく
調べレポートを作成するなど、博多・福岡
の郷土研究を行う『博多学』は、ほかでは

教育学部 占部 賢志教授

博多学

中村学園ならではの授業や学生に人気の授業など、
ユニークな講義や実習を紹介します。



あまりない珍しい授業です。地元の学生
にとっては自分のふるさとを、県外からの
学生にとっては大学時代を過ごす第2の
ふるさとをよく知る良い機会となるだけ
でなく、テーマの選び方や調査の方法、レ
ポートのまとめ方や発表の仕方を学ぶこ
とで、ありとあらゆる力を伸ばすことが
できるのも魅力。「これまで普通だと思っ
ていたことが違っていた」など、新たな発見
や驚きを通して多くの学生が郷土研究の
おもしろさを実感しています。



担当教員コメント

博多に関することなら何を調べても良いのがこの授業のおもしろさ。最終的には博多ガイドができるぐらい地元が強くなってくれるとうれいいですね。世界に向け“自分のふるさとを語れる”人材の育成を目指しています。

教育学部
占部 賢志教授



▶▶▶ Student's Voice

今回の課題で私が選んだテーマは「博多の禅寺」。祖母の家が御供所町の聖福寺の前にあり、子どもの頃から身近なテーマだったので楽しく取り組んでいます。博多っ子なので、自分のふるさとについて学べるのがうれしいですね。

教育学部2年 田丸 佳歩さん
(福岡雙葉高等学校出身)



占部先生のお話はいつもとてもおもしろいので受講しました。私は小学校の教員を目指しているので、この授業でしっかり学び、教師になった時に教科書には載っていない博多・福岡のことを子どもたちに伝えたいと思っています。

教育学部2年 鬼木 翔太郎さん
(早稲田佐賀高等学校出身)



／在學生インタビュー／

がんばれ！ 中村生

普段の勉強や部活動、課外活動など、
中村には何かに頑張る学生がいっぱい！
そんな魅力ある中村生たちをご紹介します。

今回は
2人の学生が登場！
目標をもって奮闘する
姿が輝いています

2人のこれからの
活躍も楽しみだね！

[左から]
PICKLES(ピクルス)メンバー
栄養学部3年 山道 奈緒さん
教育学部2年 池田 理沙子さん
流通科学部2年 平間 雅希さん



Q

空き時間に英語を学習しようと思った
きっかけを教えてください。

きっかけは、大学入学の際、挨拶をするために基礎教育センター*の居村先生の所に伺ったことです。居村先生は高校1年生の時の担任で、みんなに愛される先生でした。その時に先生から、英語の勉強のすずめを受け「やってみよう。」という気持ちになりました。前学期から週1回のペースで仲間4人と勉強会をしており、ゲームなどを通して基本的なところから学習しています。

基礎教育センターでの学習で

英語に対する意識が変化、

留学も考え奮闘中！

流通科学部1年 西村尚久さん(中村学園三陽高等学校出身)

Q

どのような気持ちで
勉強会に参加して
いますか？

これまでは英語は難しいというイメージがありました。勉強会を続けているうちに、英語を学び理解する楽しさを感じられるようになりました。一緒に勉強している仲間たちは、普段から勉強にとっても熱心というわけでもないのですが、この勉強会には



勉強会を担当されている居村先生も、西村くんたちの意欲的な姿勢を感じています。

Q

今後の目標や夢は
ありますか？

将来の夢はまだ未定ですが、英語を使えるようになりたいです。そうすることで、将来の選択肢が広がるからです。また、カナダへの語学留学を目標にしています。TOEICのテストでは、勉強会で学んだ箇所は手ごたえがあり、自信をもって解くことができました。

基礎教育センターでは「高校で学習した内容が不十分」授業についていけない」といった悩みや不安を解消し、国語・数学・英語・化学・理科の基礎学力の養成を行っています。

必ず出席し、楽しく励んでいます。

また、英語を話すことができれば将来活躍する場も広がると思います。語学留学も考えています。優秀な学生を半年もしくは1年間海外の友好提携大学等へ特待生として派遣する流通科学部の「海外留学スカラシップ制度」の利用も狙っていて、今は語学力を高めているところです。



勉強会は分野別に行われ、その日ごとにクリアすべき目標も立てられた丁寧なものとなっています。

夢はワールドカップ出場！ ラクロスを世界へ

教育学部4年 中村弘一さん（戸畑高等学校出身）

Q ラクロスを始めたきっかけを教えてください。

中学：高校はバスケット部に所属していたので、当初は、大学でもバスケットを続けようと思っていました。だけど、ラクロス部を見て、ラクロスってなんだろう、って疑問を持ち、すぐに帰りの電車の中でラクロスの動画を見



Q ラクロスに熱中した理由を教えてください。

ラクロスを好きになつたからです。ラクロスがうまくになりたい、自分を高めたいと思いつつ、常に向心をもつて臨んだ結果、それがラクロスに熱中したことにつながっています。

僕は福岡大学や九州大学のラクロス部の練習に飛び入りで参加したり、九州だけじゃだめだ、と感じ、武者修行のように、関東関西の日本代表がいる強豪校の練習にも参加しました。そこでは部の運営方法から、練習内容、勧誘の仕方など様々なことを学ばせてもらいました。

また、国際大会にも参加できることになり、有志が集まったチームで外国人と試合をする機会もありました。肉体的にも技術的にも圧倒的な差で負けましたが、とても悔しくて次に対戦するときは絶対に倒してやると思っています。



中村さんのラクロスにかける情熱とこれまでのがんばりは、さまざまな形で評価されています。

Q ラクロスをしていて楽しかったこと、つらかったことは？

最初はできて間もないサークルだったので、メンバーも集まらず、練習や試合をやりたいくてもやれない日々が続きました。何より、最初はサークル内でもラクロスに対する温度差がありましたので、部としてゼロから創っていく過程は、つらいことだらけでした。

他の強いチームの練習に参加し、コツをつかんで、チームを持ち帰って還元する。すごく大変でしたが、徐々に成果が出て、僕が1年生の時は、プレーヤー3人とマネージャー2人でしたが、4年目にはプレーヤー29名、マネージャー13名、週5日練習する活動的な部になりました。

今はすごく楽しくて、本当に幸せです。まさかこんな部に成長できるとは、思ってもいませんでした。今のチームに成長するまで、僕1人の力ではなくみんなの協力と理解が必要でしたし、僕のがまを許してくれたチームメイトに感謝しています。

Q ラクロスから学んだことは。

4年間通してだと、つらいことと楽しいことの割合が9対1ですけどね。

ラクロス部をゼロから創りあげたこと、他の場所にとんどん飛び込んでいったこと、キャプテンとしての経験、すべてがこれから生きていくと思います。

特に視野を広く持つことはチームメイトにも言っていますし、これから僕が教壇に立つたときも生徒たちに教えたいですね。

Q 最後に目標を教えてください。

2018年にラクロスのワールドカップがマンチェスターで開催されるので、それに出場する、というのが夢ですね。世界のトップに飛び込んで行って後悔がないようにしたいです。そして2020年にはラクロス日本代表となり、世界をラクロスで一周した経験をもつ教員になることが目標です。



九州ユースに選抜された
中村学園大学男子ラクロス部のメンバー。

CELERY

誌面講座

第3回

毎回、本学の教員が、誌面上で『CELERY』ならではの講座を開講。日常生活にも役立つさまざまな情報を発信します。

調理のススメ

調理の習慣は健康の鍵

健康で元気な体を維持するためには、栄養バランスのとれた食事が欠かせません。

最近では、外食やコンビニ弁当、インスタント食品などの充実で、いつでも簡単に食事をとることができず、栄養の偏りや不必要な調味料の摂取は否めません。そこで、おすすめしたいのがご家庭での調理。

今号では、自分で調理をする時に気をつけたいことや、調理の習慣化の健康効果などを紹介します。



中村学園大学短期大学部
食物栄養学科
三堂 徳孝教授

栄養バランスのとれた食事で健康管理

健康には「運動」「生きがい」「食事」の三本柱が大切です。とくに、散歩などの適度な運動と栄養バランスのとれた食事は、生活習慣病はもちろんな、認知症の予防にも効果的です。栄養バランスのとれた食事とは、ご飯などの穀類の「主食」を中心に、汁物、主菜・副菜のおかず、そして漬物を組み合わせ「汁三菜」の和定食が理想的です。

しかし、どのような食材をバランスよく食べればいいのか、わからない人が多いのではないのでしょうか。そんな時は、「まごはやさしいわ」を覚えておくと便利です。ま…豆類、ご…胡麻、に…肉類、は…発酵食品(ヨーグルトなど)、や…野菜類、さ…魚介類、し…シイタケなどのキノコ類、い…イモ類、わ…ワカ

メなどの海藻類、をまんべんなく揃えるようにしてみましょう。

さらに、五味・五色・五法の組み合わせで、見た目や味付け、調理の方法が他と重ならないようにするとより効果的です。五味とは、甘味(砂糖)、酸味(酢)、塩味(塩)、苦味(芥子・生姜)、うま味(醤油)といった調味料のこと。五色は食材を色で分けたもので、黒(紫)…海苔・ワカメ・ヒジキ・黑豆、黄…カボチャ・サツマイモ・納豆・味噌、緑…ホウレン草・ピーマンなど緑の野菜類、赤…人参・トマト・赤身の肉・エビ・カニ、白…主食の炭水化物・キノコ・玉ねぎなど。そして、五法は生食、焼く、煮る、蒸す、揚げる、の調理法。これらをさまざまに組み合わせ、工夫するとよいでしょう。

POINT

調理プラスひと手間をかけて食事をよりおいしく!

- ✓ 缶ビールや缶ジュースはグラスに注ぐ。
- ✓ 料理がおいしく見える器を選んで盛り付ける。
- ✓ 温かいものは温かく。
- ✓ 冷たいものは冷たく。
- ✓ きちんにご飯を炊く。

献立づくりは

- ① 野菜を多くとる、
- ② 家にある食材を使う、
- ③ 簡単に作れる、ことを重視しましょう。

三堂先生のプロフィール

1975年、中村学園大学 食物栄養学科卒業、管理栄養士。ロイヤルパークホテル、赤坂迎賓館(内閣府)等での料理長の経歴を持ち、地域の講演やイベントでも活躍。九州の地域産物の特徴を生かした付加価値の高い商品開発・消費拡大とともに、地域の健康や食育推進に寄与している。専門分野は調理学部門。



子どもから高齢者まで 調理で脳を活性化

外食やコンビニ弁当、インスタント食品がメインになるような食事では、どうしても必要な栄養素が不足しがちです。しかし、自分で調理することで食の知識や知恵、技術が身につくことで栄養面に気をつけるようになり、何より食費の節約にもつながります。

同時に、調理は脳の活性化にも役立ち、老化防止にもつながります。包丁を使って材料を切ったり、菜箸で炒めたりと、両手を使った細かい作業が要求されることで脳は活性化します。さらに、毎日の献立を考えたり、食材の組み合わせや味付けを工夫したりすることで、脳の働きはますます高まっていくので、調理することは健康管理のひとつとも言えるのです。

また、食や調理への関心が最高の時期である小学生時代の料理体験も重要です。生き物の命、道具や器の文化に触れたり、家族の役に立ったり喜ばれたりすることで、子どもの健やかな成長の土台となる好奇心や達成感、存在感が育まれます。小学生時代に調理に参加させるか否かで、その後の食に対する考え方に大きな差が出てきます。一度、始めさせたら「できた」とことを認め、大いに褒めてあげ、調理の楽しさや喜びを味わわせながら、習慣化につなげていきましょう。

同時に、盛り付けや食器、キッチン用品などに興味を持つと、調理をするのがより楽しくなります。ぜひ、調理を新たな趣味や活動の幅を広げるきっかけにしてください。ひいては、それが健康づくり、健康長寿につながるのです。

作ってみよう！

季節を感じる おすすめ料理

調理の初心者は、多少時間がかかってよいので、レシピを見ながら決められた分量や時間を守って、簡単な料理から始めてみましょう。慣れてきたら、旬の食材や歳時・季節感を取り入れた料理にも挑戦！

季節のおいしさを味わうと、調理がグッと楽しくなります。誌面では、秋に旬を迎える蕪(かぶ)を使った料理と、これから肌寒くなる季節にぴったりのオニオングラタンスープの作り方を紹介しましょう。ぜひ、チャレンジしてみてください。



昨年行われた公開講座の様子。講演後には調理のデモンストレーションも行われ、参加者には試食が振る舞われました。

オニオングラタンスープ



【材料】
 玉ねぎ……………340g グリュエールチーズ……50g
 サラダ油……………40ml パセリ……………少々
 チキンブイヨン……800ml ニンニク……………少々
 バゲット……………2分の1本 塩こしょう……………適宜

【作り方】
 ①バゲットは7～8mmの厚さに切り、オーブンで焼き、ニンニクをこすりつける。
 ②玉ねぎは厚さを揃えて薄切りにする。
 ③鍋にサラダ油を入れ、②の玉ねぎをアメ色になるまでゆっくりに炒める。
 ④③にチキンブイヨンを加えてのばし、塩、こしょうで味を調える。
 ⑤④を耐熱の器に注いで①のバゲットを浮かせ、おろしたグリュエールチーズをかけ、220℃のオーブンでチーズが溶けるまで焼く。
 ⑥パセリのみじん切りを振りかけて出来上がり。

蕪のブランマンジェ



【材料】
 蕪……………200g 帆立貝柱……………7個
 牛乳……………200ml サラダ油……………50ml
 板ゼラチン……………8g カレー粉……………少々
 生クリーム……………60ml ビーツ(ピューレ)……少々

【作り方】
 ①薄切りにした蕪と牛乳をポリ袋に入れ、95℃の熱湯で20分間加熱する。
 ②①をミキサーにかけてこし、戻したゼラチンを溶かし入れ、塩、泡立てクリームを加える。
 ③ガラスの器に②を流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
 ④帆立貝はフライパンでソテーし、7～8mmの角切りにする。
 ⑤サラダ油にカレー粉を加えて一晩おき(前夜に作っておく)、こす。
 ⑥③の蕪に④の帆立貝を盛り付け、⑤のカレーオイルとビーツのピューレを添えて出来上がり。

※「ブランマンジェ」とは生クリームなどを加え、ゼラチンで固めたもの。

初心者、経験者を問わず、サッカー大好き人間が集い、
楽しく心地良い汗を流す『サッカー同好会』を訪ねました。



上手、下手に関係なく、全員がサッカーを楽しみながら、レベルアップを目指しています

モットーは ♪楽しみながら レベルアップ♪

毎週火曜と木曜の午後5時〜8時まで、樋井川沿いの田島グラウンドで、シユート練習やミニゲームを楽しみながら気持ちのいい汗を流しているサッカー同好会。初心者から経験者まで、マネージャーを含めて約90名のメンバーを率いるのは教育学部3年の田村将さん。監督もコーチもない同好会の部長兼キャプテンとして、チームをまとめ、時には引つ張り、全国大学同好会サッカー選手権大会への出場を目指しています。

「昨年、この全国大会への出場につながる福岡県のリーグが設立されました。自分も1年の時から出場し、2年連続で九州大会に進んだのですが、今年は県大会で敗退。リーダーとして責任を感じています」とシヨックを隠せない様子の田村さん。とは言え、勝つことだけを重視した厳しい練習を重ねる同好会にはしたくない。「やる時は真剣に集中する、楽しむ時は全力で楽しむ、というメリハリをしっかりとつけ、少しずつでもレベルアップしていけるよう頑張ります」ときっぱり。

レベル向上のカギを握るのは、個々の「やる気」とチームの「結束力」。今後の活躍に期待が高まります。



全国大学同好会サッカー選手権大会への出場権をかけ、福岡の大学同好会チームを中心としたリーグ戦に毎年参加。初参加の2013年は九州大会で準優勝を果たしました



「目標は高く、全国大学同好会サッカー選手権大会出場ですが、まずは九州大会進出を目指して練習に励んでいます」と部長の田村さん

初心者・経験者が入り混じって、それぞれのペースで練習。時には、他大学チームと練習試合も

第1回食産業サービ ス経営人材育成コンソーシアム

9月11日、本学にて「第1回食産業サービ
ス経営人材育成コンソーシアム」が行
われました。

本学では、経済産業省の「産学連携
サービス経営人材育成事業」に採択さ
れ、食に係る科学的知識(栄養科学)と
食をビジネス等に結び付ける知識(流
通科学)の異分野の知識を兼ね備えた
専門的・実践的な人材を育成する教育プ
ログラムを策定し、平成29年4月に新学
科を開設する準備を進めています。

このたび、産学官連携による教育プ
ログラムの開発を目的として食関連企



業等26団体が参画するコンソーシアム
が組成され、第1回の全体企画部会が
開催されました。求められる人材像や
新学科の教育プログラム案について率
直な意見が交わされたほか、福岡市が
指定を受けている国家戦略特区との連
携について共通
認識を図りまし
た。

今後は、3企画
部会において更
にカリキュラム
の検討を重ね、
来春までに教育
プログラムをま
とめ上げる予定
です。

福岡工業大学短期大学部と中村学園大学 短期大学部が教育ワークショップを開催

8月19日、本学にて福岡工業大学短期
大学部との教育ワークショップが開催され
ました。

両短期大学部は、SD研修やFD活動
を進展させ、学生サービスの向上や人材
育成の向上をめざし、今年5月に交流協
定を締結しており、今回の教育ワーク
ショップはそのFD・SD活動の一環とし
て、開催されたものです。

今回のワークショップは「福岡工業大学
短期大学部のカリキュラム改革とその成
果について」というテーマで、福岡工業大学
短期大学部の2学科(情報メディア学科、



ビジネス情報学科)が取り組んできたカ
リキュラム改革が紹介されました。

多様化する学
生に対する取組
みについて、成功
事例や失敗事例
等を交え、講演
いただきました
た。ワークショップ
終了後の懇親
会では、質問や
意見交換が行わ
れました。

国際 交流

インドネシア・ 学生訪問団との交流

8月21日、公益財団法人福岡都市アジ
ア研究所による「さくらサイエンス事
業」の一環として、大学院栄養科学研
究科の学生とインドネシアの学生訪問団
との交流会が開催されました。

参加学生の自己紹介、一汁三菜ラン
チ、7号館の「給食経営管理実習室」を
視察し、本学の管理栄養士、栄養士養成
における「HACCP」の取組みを紹介
しました。視察後も積極的に質疑が投
げかけられ、日本における食品衛生管
理のあり方などについて、学んでいた
だく機会となりました。



HACCP=Hazzard Analysis and Critical Control Point
「危害分析重要管理点」と訳され、食品の衛生管理の方式。

国際 交流

台湾・美和科技大学の 学生訪問団との交流

9月3日、本学との協定校である台湾・
美和科技大学から約30名の学生が来学
し、学生交流会が開催されました。本交
流会は、留学生と日本人学生から成る
サークル「国際交流会」を中心に企画さ
れたものです。

参加学生の自己紹介、中国からの留学
生の体験発表の後、日本と台湾にちなん
だクイズ大会が行われ、身振り手振り
で一生懸命交流を図りました。

通訳を担当した学生は、「自分の留学
の成果を試す絶好の機会となり、自分の
弱点や今後の課題も明確になった。これ



からも中国語の勉強を続けていき
たい。」と成長と課題を認識する機会と
なったようです。

教員免許状更新講習

本講習は、教員に必要な資質能力を維持向上するために受講の義務があり、全国の教育機関で行われているもので、幼稚園・保育園から高等学校の現職の教員、また過去に勤務されていた教員も対象に実施しています。

開講期間は8月、11月(開講予定)の計6日間で、必修講習2科目、選択講習8科目を開講しており、30代から50代の先立方、延べ353名が受講されます。

8月に受講された先生方からは「これからの教育に実際に生かせる内容であった」とや「授業をする上で参考になる

2015夏のオープン キャンパス開催

8月8日、22日の両日、大学および短期大学部において、「2015夏のオープンキャンパス」を開催しました。両日とも晴天に恵まれ、4,608名の高校生や保護者の方にご来場いただき、模擬授業や入試説明会など、多数のプログラムにご参加くださいました。また在學生との面談コーナーでは、学部・学科の情報や大学生活についてなど、先輩の話に聞き入る高校生の姿が見られました。なお、本学の魅力を高校生に伝えるため、多くの在學生がスチューデントジョブとして活躍し、盛

ことが多くあった」等の感想が寄せられました。



況のうちに終了しました。春のオープンキャンパスは、平成28年3月19日に開催します。



学生が企画した掛け時計 『木漏れ日』が商品化！流通科学部・明神ゼミ

流通科学部・明神ゼミは、マーケティングを学ぶ学生と企業が共同で商品開発に取り組みプロジェクト『Sカレ』に九州地区唯一の大学として参加しています。



同ゼミ4年生の前田有佳里さん、堀切汐里さん、稲富健太さんは、「Sカレ2014」において、日々忙しく過ごす人でも気

Sカレ=Student Innovation College

持ちの豊かさや余裕を感じられる掛け時計を商品企画しました。ガラスカバーに印字された数字の影が文字盤に現れ、時間帯や季節によって影が変化し、時の流れを感じることができるよう工夫されています。

惜しくも受賞は逃しましたが、企画過程や商品コンセプトが製造会社の目に留まり、半年間の検討を経て、商品化が実現しました。商品名は、インテリア掛け時計『木漏れ日』。時計の製造販売の(株)さん(神奈川県厚木市)様にて販売されています。

第6回高大接続 教育研究会

10月5日、西南学院大学(福岡市早良区)を会場に、第6回高大接続教育研究会が開催されました。本研究会は、本学と高等学校との相互理解を深め円滑な高大接続を推進することを目的として平成24年度から様々な課題をテーマに開催しており、今回から研究会の一層の充実を図るため、西南学院大学並びに福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部と合意のもと三大学による共同開催となりました。

県内公立高等学校や各大学の教職員が多数参加するなか基調講演やグループ



セッションが行われ、高大接続教育の重要性や入試改革の動向について理解を深めるとともに高等学校の現状や各大学の取組みについて情報交換がなされ、進学者のミスマッチ防止に向けた様々な視点から意見が交わされました。

プロジェクトページ<https://cuusoo.com/projects/3743>

(株)さんてる「木漏れ日」商品ページ<http://sun-tel.co.jp/modules/shop/show.php?id=355>

詳しくは
WEBに掲載
しています

ホームページ
<http://www.nakamura-u.ac.jp/>



公式Facebook
<https://www.facebook.com/NakamuragakuenUniversity/>



50周年
記念事業

中村学園大学開学50周年 記念サイト&記念講演会

今年度は大学開学50周年にあたり、大学の3学部では記念事業を展開しています。50周年記念サイトでは「写真でみる50年」というテーマで、今昔の授業風景や学内の写真を掲載しています。また「50年の歩み」のページでは歴代学長や沿革について掲載しています。また各学部の主催にて50周年記念



1970年度の卒業アルバムより抜粋

50周年
記念事業

中村学園 元留学生会設立式

50周年記念事業の一つとして中村学園元留学生会が設置され、9月26日、中国の遼寧省大連市にて設立式が行われました。この会は、大学院・大学・短期大学部を卒業(修了)した留学生と本学とのネットワークを構築し、本学への留学を検討している方への広報活動、留学及び入学後の就職支援を行うことを目的としています。当日は16名の元留学生が大連市以外にも北京市や福岡市からも出席し、近況報告や今後の目標を語り合い、盛況のうちに終了しました。同会



【問合せ】
学生部 国際交流・社会連携課(担当:金[ジン])
TEL:092-834-2178(直通)

の初代会長に就任した于(ウ)さんからは、「次回はもっと参加者を増やしたい」との意気込みが語られました。

学び、教えるとは ～保育や教育の基底～

日時 平成27年11月28日(土)
13:30~16:30(予定)
場所 中村学園女子中学校・高等学校講堂
対象者 本学学生及び教育に関心のある方
(定員1,000名)
学生を含む参加者との対面型講話及びディスカッションを予定しています。
【問合せ・申込】教務部 教育研究支援課
TEL:092-851-5579

50周年記念サイト <http://www.nakamura-u.ac.jp/50th/>

講演会が企画され、各学部の専門分野における国内外の著名な先生より講演いただいています。教育学部主催の記念講演会は左記のとおり。

UR都市
機構連携
地域活性化
プロジェクト

UR金山団地・健康体操プロジェクト ～流通科学部・片山ゼミ

9月23日、流通科学部3年の片山ゼミがUR金山団地集会所にて、団地住民を対象とした「健康体操プロジェクト」を行いました。学生が考案した認知症予防の体操や、ヨガ、簡単なゲームなどを体験してもらい、終了後は学生手作りのオリジナルの野菜スムージーを飲みながら、交流会を行いました。最初は堅苦しい雰囲気でしたが、体操を進めていくうちに次第に緊張がほぐれ、笑い声があがりました。参加者のみなさんから「楽しかった」と声をかけていただき、満足していただけるイ



ベントになったようです。10月には同ゼミにて秋祭りを予定しています。

UR都市
機構連携
地域活性化
プロジェクト

UR金山団地・「健康寿命を延ばす!! 健康栄養教室」～栄養科学部

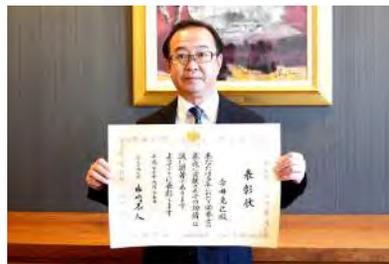
10月1日、UR金山団地居住者を対象に今年度3回目の「健康寿命を延ばす!!健康栄養教室」を開催しました。はじめに、栄養科学部安武准教授より、食事や減塩、運動、飲酒の適量な組み合わせと血圧コントロールについての講話がありました。続いて、同学部4年生三好ゼミ生から、高血圧の要因やすぐに実行できる食事の摂り方を豆知識として紹介され、塩分摂取の自己チェックや日常生活で手軽にできる運動方法が紹介されました。最後に、同学部熊原講師から、体力と疾病



の関わりや運動による血圧の変化が説明され、個人に合った軽い運動やエクササイズの後継が推奨されました。講座終了後は、学生オリジナルの減塩レシピ「秋なすと豚肉のはさみ蒸し」と「キャベツと鶏肉のおかか和え」の調理実演と試食が行われ、手軽で素材を生かした減塩の旨味を堪能しました。

教員の表彰

平成27年度栄養関係功労者
厚生労働大臣表彰



平成27年9月、今井克己教授(栄養科学部)が、栄養士養成功労者として厚生労働大臣賞を受賞しました。

この表彰は、栄養改善及び食生活改善事業の普及向上等に功労のあつた者に対し厚生労働大臣が行うものです。今井教授は、本学において29年間にわたり栄養士・管理栄養士教育の基盤となる分野を担当、国家試験を目指す学生の指導に取り組んで来られました。また、寝たきり高齢者の栄養アセスメント研究を継続し、寝たきり高齢者の体重推定式を作成するなど、学生の教育と学術研究の功績も高く評価されました。

日本調理科学会 功労賞

平成27年8月、吉岡慶子名誉教授(栄養科学部)が日本調理科学会功労賞を受賞しました。長年にわたり調理科学の発展、普及、教育に貢献され、多くの研究業績が調理科学の発展に寄与されたとして、受賞となりました。

日本経営システム学会第55回
全国研究発表大会 貢献賞

平成27年9月、山田啓一教授(流通科学部)が、日本経営システム学会の第55回研究発表大会において基調講演を行い、同大会貢献賞を受賞しました。講演は「海外進出と企業の社会的責任―東南アジアにおける企業行動のあり方」と題し、山田教授の研究活動の成果を発表され、同大会における貢献が評価されました。また同大会にて、パネルディスカッション「技術経営における経営システムの役割」でもパネラーを務め、同大会に貢献されました。



日本産業科学学会
優秀賞

平成27年8月、岩永忠康特任教授(流通科学部)が、産業科学の分野において特秀でた書籍に贈られる日本産業科学学会優秀賞を受賞しました。著書「現代の商業論(五紘舎 平成26年5月)が受賞の対象となりました。

平成27年度日本基礎造形学会
研究奨励賞

平成27年8月、古賀和博准教授(幼児保育学科)が、日本基礎造形学会2015成田大会において、研究奨励賞を受賞しました。古賀准教授は、立体・空間の基礎造形に関する理論と制作の両面から研究を実施し、多数の口頭発表・作品発表および論文集・作品集における研究成果を発表したこと、また国際学会においても、英文による論文発表・作品発表を行うなど、基礎造形研究を推進する優れた業績をあげていることが評価されました。



古賀和博准教授

学生の表彰

日本食品保蔵科学会
優秀ポスター賞

平成27年6月、日本食品保蔵科学会創立40周年記念大会において、本学大学院栄養科学研究科の折田綾音さんが優秀ポスター賞を受賞しました。若手研究者を中心とした70題のポスター発表から、折田さんの発表題目「豆類の抗酸化活性の評価」は、優秀ポスター賞3件の1つに選出されました。



園児募集



中村学園大学付属
あさひ幼稚園
〒814-0105 福岡市城南区城西団地9番1号
【TEL】092-831-6291
【URL】http://www.nakamura-u.ac.jp/asahi/

年中児も募集中
未就園児案内中



中村学園大学付属
壹岐幼稚園
〒819-0043 福岡市西区野方2丁目14番43号
【TEL】092-811-6831
【URL】http://www.nakamura-u.ac.jp/iki/

こあらくみ(未就園児)開講しています

定員になり次第締め切らせていただきます。詳細は各園にお問い合わせください。

外部資金等の受け入れ状況(平成27年6月～平成27年9月受入分)

共同研究

[研究者] 太田 英明
[研究課題名] 機能性表示を目指した福岡県産新柑橘「果のしずく」を利用する商品開発
[研究期間] 平成27年7月13日～平成28年3月10日
[企業名等] 久留米リサーチ・パーク
[交付予定額] 1,000,000円

[研究者] 原 孝之
[研究課題名] コンニャク芋加工品の開発および本製品に関連する技術研究
[研究期間] 平成27年6月15日～平成29年6月14日
[企業名等] 株式会社MFCソリューションズ

[研究者] 森口 里利子
[研究課題名] 乳幼児のダシの開発
[研究期間] 平成27年9月1日～平成28年3月31日
[企業名等] 株式会社クックチャムプラスシー
[交付予定額] 70,000円

受託研究

[研究者] 中野修治
[研究課題名] 地産地消を活かした喫茶メニューの提案と栄養指導
[研究期間] 平成27年8月1日～平成28年3月31日
[企業名等] 片桐美佐子(合同会社シナプスOne)
[交付予定額] 200,000円

[研究者] 太田 英明
[研究課題名] 沖縄在来有色豆の機能性と調理加工特性評価
[研究期間] 平成27年8月10日～平成28年3月10日
[企業名等] 沖縄県農業研究センター
[交付予定額] 3,380,000円

[研究者] 原 孝之
[研究課題名] 植物単細胞化技術の科学的基盤と食品加工の技術としてのポテンシャルの解析
[研究期間] 平成27年9月1日～平成28年3月31日
[企業名等] 味の素株式会社
[交付予定額] 550,000円

[研究者] 岩本 昌子
[研究課題名] 栄養学と運動学に依拠したカラダづくりのためのプログラム開発
[研究期間] 平成27年6月1日～平成27年9月30日
[企業名等] ユニブコンサルティング
[交付予定額] 30,000円

[研究者] 岩本 昌子
[研究課題名] 栄養学と運動学に依拠したカラダづくりのためのプログラム開発(応用編)
[研究期間] 平成27年9月1日～平成28年3月31日
[企業名等] ユニブコンサルティング
[交付予定額] 100,000円

[研究者] 田村 孝洋
[研究課題名] 栄養学と運動学に依拠したカラダづくりのためのプログラム開発
[研究期間] 平成27年6月1日～平成27年9月30日
[企業名等] ユニブコンサルティング
[交付予定額] 30,000円

[研究者] 田村 孝洋
[研究課題名] 栄養学と運動学に依拠したカラダづくりのためのプログラム開発(応用編)
[研究期間] 平成27年9月1日～平成28年3月31日
[企業名等] ユニブコンサルティング
[交付予定額] 100,000円

[研究者] 甲斐 諭
[研究課題名] 黒大豆(筑前クロダマル)及び加工食品を核とした「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究
[研究期間] 平成27年9月1日～平成28年3月31日
[企業名等] 筑前町
[交付予定額] 1,000,000円

[研究者] 甲斐 諭
[研究課題名] 菓子文化の向上や地域活性化への貢献を模索する
[研究期間] 平成27年9月15日～平成28年9月30日
[企業名等] 株式会社ひよ子
[交付予定額] 1,000,000円

[研究者] 片山 富弘
[研究課題名] 離島における地域づくりの調査研究
[研究期間] 平成27年5月13日～平成27年10月31日
[企業名等] 佐賀県
[交付予定額] 500,000円

[研究者] 三堂 徳孝
[研究課題名] サメを活用した新たな商品メニュー開発及び加工方法の検討
[研究期間] 平成27年8月1日～平成28年3月31日
[企業名等] 三信株式会社
[交付予定額] 108,000円

[研究者] 内田 和宏
[研究課題名] 宮崎県の食材を使用したレシピの開発
[研究期間] 平成27年9月1日～平成27年11月30日
[企業名等] 宮崎県
[交付予定額] 200,000円

研究寄付金

[研究者] 三成 由美
[研究課題名] 環境負荷低減レシピの開発のため
[企業名等] 西部ガス株式会社
[交付予定額] 1,500,000円

研究助成金

[研究者] 渡辺 圭祐
[研究課題名] 栄養科学と運動科学を融合した「本当に強いカラダづくり」のためのeラーニング型教育プログラムの開発
[研究期間] 平成27年7月～平成28年3月31日
[企業名等] 公益財団法人緒方記念科学振興財団
[交付予定額] 500,000円

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載※冊数等は発行日現在のもの



「食文化のスタイルデザイン - “地域” と “生活” からのコンテクスト転換 -」

山田啓一 流通科学部・教授 共著
(大学教育出版 平成27年8月)



「日本経営診断学会叢書 第1巻 経営診断の体系」

山田啓一 流通科学部・教授
水島多美也 流通科学部・准教授 共著
(同友館 平成27年6月)



「疾病の成り立ち: 臨床医学(第2版)」

津田博子 栄養科学部・教授 共著
(建帛社 平成27年9月)



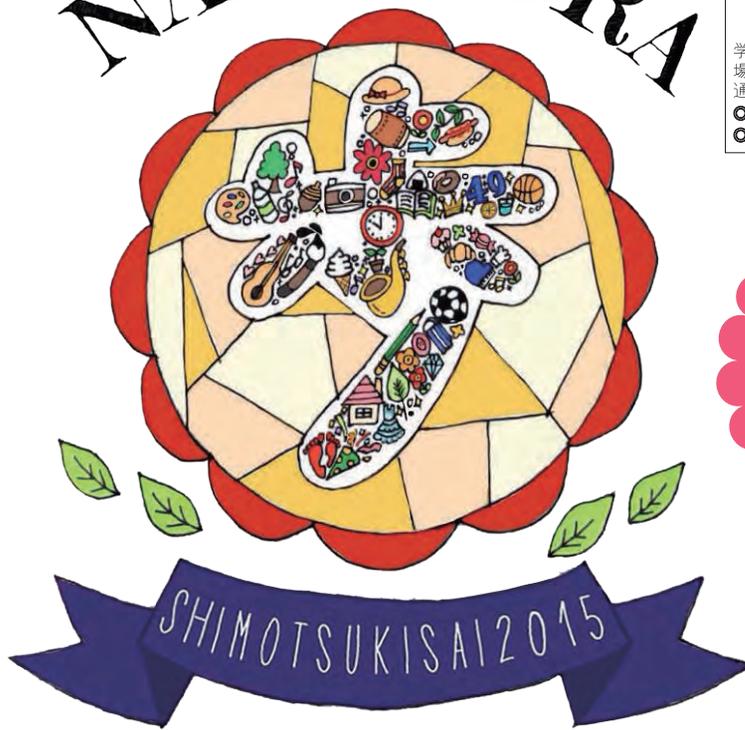
「教育は国家百年の大計 - 私の教育改革試論」

占部 賢志 教育学部・教授 単著
(公益財団法人モラロジー研究所 平成27年8月)



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

NAKAMURA



注意事項

学園祭期間中は、安全の為、駐車場は開放しておりません。公共交通機関をご利用ください。
 ◎西鉄バス「中村学園大学前」下車
 ◎地下鉄七隈線「別府駅」下車

ちびっこパーク

・のびのび広場
 ・中村
 ・アドベンチャー
 etc

おすすめ
イベント

11/5 木

- ・オープニング
- ・新企画
- ・ミスカマコンテスト
- ・王子様コンテスト

11/6 金

- ・N-1
- ・NAKAッブル
- ・千葉雄大
トークショー



11/7 土

- ・ダンスコンテスト
- ・ミスキャンパス
コンテスト
- ・のど自慢
- ・フィナーレ

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎号送付しています。
 [申し込み先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
 中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

公式facebookページ

